

地球と宇宙の「謎」に挑む

日時

平成28年3月19日(土)
14:00~16:30(受付開始13:30)

会場

東北大学 川内キャンパス
文科系総合講義棟2階大講義室
(仙台市青葉区川内27-1)

最先端の科学技術への理解を深めてもらうために、東北大学と河北新報社が取り組む東北みらいプロジェクトレクチャーシリーズ。今回は、宇宙地球科学をテーマに、平成22年に地球に帰還した「はやぶさ」のカプセルから最初に微粒子を取り出し分析した同大学院理学研究科の中村智樹教授と、日本発で月面探査を目指す民間宇宙開発チーム「ハクト」を技術開発リーダーとして率いる同大学院工学研究科の吉田和哉教授が、理学と工学両方の切り口から最先端の宇宙地球科学を紹介します。また、JAXA宇宙科学研究所教授の中村正人氏を迎え、金星探査機「あかつき」による探査計画の展望をお聞きます。

参加者
募集
募集定員
300人

講演

小惑星探査機「はやぶさ」の贈り物 太陽系の惑星はどのように誕生したのか



中村 智樹

東北大学大学院理学研究科教授

1966年生まれ。1991年東京大学理学研究科修士課程修了。1993年九州大学理学部助手として赴任し、その後米航空宇宙局・太陽系探査部門、独マックスプランク研究所・宇宙化学部門に留学し、2001年に九州大学助教授を経て、2012年から現職。地学専攻に初期太陽系進化化学研究室を創設。

世界の金星探査と日本の挑戦



中村 正人氏

JAXA宇宙科学研究所教授

1959年生まれ。1987年ドイツ連邦共和国マックスプランク研究所研究員、1990年宇宙科学研究所助手、1993年東京大学大学院理学系研究科助教授を経て、2002年から同大学教授、現職。他に、金星探査機「あかつき」衛星主任、日本学術会議連携会員など務める。

東北大学から宇宙へ ロボットによる月惑星探査への挑戦



吉田 和哉

東北大学大学院工学研究科教授

1960年生まれ。1986年東京工業大学助手、1994年米国マサチューセッツ工科大学客員研究員、1995年東北大学助教授を経て、2003年から現職。1998年から国際宇宙大学の非常勤教員を勤め、国際的な場での宇宙工学、ロボット工学の教育にも活発に取り組んでいる。

応募方法

宛先 河北新報社企画事業部「東北みらいプロジェクトレクチャー」係

郵便番号、住所、氏名、年齢、高校・大学生の場合は学校名と学年、電話番号、参加人数を明記し、Eメール、ファクス、はがきにより下記までお送り下さい。

※応募多数の場合は抽選となります。聴講券の発送をもって当選通知とさせていただきます。

◎Eメール j-oubo@po.kahoku.co.jp

◎ファクス 022-211-1221

◎はがき 〒980-8660(住所記載不要)

締め切り

3月7日(月)
必着

問合せ 河北新報社企画事業部 TEL.022-211-1332【平日9:30-17:30】



▼キャンパス内に駐車場はございませんので、公共交通機関をご利用下さい。

JR仙台駅より仙台市地下鉄東西線「八木山動物公園」行き乗車、「川内駅」下車